

花咲かだより

題字 森 キヨさん

社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム 山科苑

デイサービスセンター 山科苑

居宅介護支援センター 山科苑

京都市山科区大塚野溝町3番地

TEL (075) 593 0800

ryokuju@agate.plala.or.jp



2階 共同作品
花見



3階 共同作品
アジサイとカタツムリ



大人のぬり絵



ちぎり絵 桃



産布団



3階 共同作品
初夏



おんな子 さん
フジ 娘

特養 作品ギャラリー

退任のご挨拶

謹啓

時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度理事会におきまして、当法人理事長を退任することとなりました。

皆様におかれましては理事長在任中ご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様のご協力のお陰で、無事十五年という在任中大過なく発展でき、後進に引き継ぐことができました。

なお後任には、特別養護老人ホーム山科苑 吉澤英樹施設長が就任し、法人の発展に寄与することになりました。皆様の温かいお心でお支えいただければと願っております。

今後とも、これまでと変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

皆様には、この十五年間本当にありがとうございました。

敬具

社会福祉法人 緑寿会
前理事長 吉澤 富美子

就任のご挨拶

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて私儀

この度、四月二十三日付をもちまして 吉澤 富美子の後任として社会福祉法人緑寿会理事長に就任いたしました。

つきましては、かかる大役にはまだまだ未熟者ではございますが、地域の皆様との連携を図りながら社会貢献に努めることが使命と考え、誠心誠意尽力する覚悟でございます。

何卒前任者同様に格別の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

就任にあたり、書中をもって御挨拶申し上げます。

敬具

社会福祉法人 緑寿会
理事長 吉澤 英樹



デイサービスだより



お花見ドライブでの写真 (滋賀県 坂本)

今年も約2週間かけて、お花見ドライブに行ってきました。前半は毘沙門さん付近、後半は滋賀県の坂本付近と桜の咲き具合に合わせ、皆様に満開の桜を楽しんでいただきました。車中から見る春の色に「桃源郷みたい」「ひゃ～ええとこ連れて来てくれはった～」等々・皆様の歓声私達をも嬉しくさせてくださいました。

その中で私の心に残った一言がありました。それは百歳になろうかのご利用者が言われた「家の者にも見せてやりたいわぁ」の一言でした。お年よりは、歩けなくなっても、耳が遠くなっても、眼が悪くなっても・・・、いつも家族を大切に想っておられる。元気な頃から気持ちはそのまま、歳を重ねただけその気持ちは長く、深くずっと続いているんだなぁと感激させていただきました。

そんな皆様の想いと表情を残していただこうと、今年度の誕生日プレゼントは山科苑特製クリアファイルです！行事等でお渡しする写真を入れてくださいねっ。

(文 : 安富 友視)

パンダッチの部屋



パリアフリー展にて

より実りある人生を

とある日曜、福祉用具の展示会に行ってきました。

『福祉用具』。私も施設内で常日頃出会います。しかし、クッション1つでこんなに種類がある事に驚きです。多くの会社が用具を展示しています。ちょっと押しただけで開くドア。クッションの座り心地比べ。今まで福祉用具にそれ程関心はありませんでした。しかし、福祉用具を使う事でご利用者にとっての可能性が広がるのでは？今回そんな事を考えさせられました。

そして最近、車椅子を変えたご利用者にこんな変化がありました。

あるご利用者は、とりあえずの車椅子を使用していましたがぼんやりとされていました。職員は「この方にあった車椅子を」と探すことに。そして車椅子を変えたたんその方は、自然と自走しようとし、食事では気付けばスプーンを持ち食べようとしていました。その姿に私達は大きな喜びを感じました。マンパワーでは補えない可能性を福祉用具はもっています。

たかが福祉用具。されど福祉用具。福祉用具の世界も日々進化しています。今、週に1度福祉用具の業者が来苑しています。今後、一人一人のご利用者に、可能性が広がる福祉用具を探し、より実りある人生を送るお手伝いできればと思います。

文 介護士 松本 智子(パンダ大好き)

日々の出会いを大切に：



手作り喫茶の風景

シヨートステイのお迎えのこと
シヨートステイを利用されるH氏と入職後初めて接したのは、余暇活動の中で一緒にホットケーキを作ったときでした。その時に名前程度の自己紹介はしていましたが、次にお会いしたのは約1ヶ月ぶり、2度目の対面の機会であったにもかかわらず、H

氏をお迎えに行きましたら「宮前さんやっただよね」とH氏から声をかけていただきました。まさか自分の名前を覚えていただけとは想像もしていなかったもので、本当に驚いたとともに、とてもうれしくなりました。「自分の名前を覚えていてくれた」。この事がこんなにうれしいことなのだと思えていたのだと、日々多くのご利用者の方と接する中で、「私と会えて良かったな」と少しでも感じていただけたら、日々の出会いを大切にしなければ。とH氏から学ばせていただきました。

文 生活相談員 宮前 收児

特養広報委員がそれぞれを紹介します



介護士 松本 智子(パンダ大好き)でもウサギ

堅田さん
はご利用者のお話を引き出すのが上手な方で、いつも楽しいおしゃべりが聞かえてきます。さらに、新婚ホヤホヤです。



生活相談員 宮前 收児

松本さんはご利用者の皆さんに喜んでもらえるよう常に情熱を持って仕事をされる尊敬すべき方です。それから、ときどきみれるコスプレ姿は本当にステキですよ、一見の価値あり！



介護士 堅田 美裕貴

宮前さんは見た目とってもきゃしゃな印象ですが中身はとても優しく頼もしくご利用者から大人気です。家庭では一児のパパ、きつと素敵なお父さんなのでしようね。

特養通信

今 この時を大切に...

職員とご利用者 ご利用者とご利用者
出逢ったことは偶然であり 必然
一緒に過ごす時間は大切な宝物
今この時間を大切に。

各階の取り組み・日々の生活。
そんな生活であり、特養のありのままの姿を伝えていければと思います。

フジの花

昨年度、3階フロアでは住環境改善を実施しました。実際に施設を利用されているご利用者の立場になって、より利用しやすい、居心地が良い環境を目指す目的で取り組みました。しつらえ後、ご利用者からも以前より過ごし易くなったと好評をいただいています。中でも私が一番気に入っているのはリビングに設けた寛ぎのスペースから見える外の

3階フロア的生活

同じ景色を見ても見る人によって見ている場所や感じ方が違つてあらためて認識しました。今回の取り組みを通じて主観的な見方ではなく常にご利用者の目線になって考えることがよりよい環境作りに繋がるのだということ学びました。

文 介護士 堅田 美裕貴



景色です。
窓の外にはベランダがありそこには園芸委員が中心となって栽培している花がとつても綺麗に咲いています。いつも窓の外を眺めては心を癒されています。

先日あるご利用者と一緒に寛ぎスペースで過ごしている時、「花が綺麗に咲いてますね」と声をかけると「ほんとなあー！フジの花がいつぱい咲いて綺麗やなあ」と返事がありました。その方はベランダではなく苑の前の山手に咲いているフジの花を眺めておられました。今までベランダばかりに目がいついていたのですが確かに山手にはフジの花が綺麗に咲いており新たな発見を嬉しく感じました。

舌鼓

笑顔ほころぶ

外食会

介護士 市川 久美

介護士 川柳



外食会大津プリンスホテル 寿司カウンターにて

介護士川柳
川柳にのせて、ご利用者とスタッフの日常の風景をお伝えします。また、募集もしております。お気軽にスタッフまでお声掛けください。

広報委員会

栄養士だより

Aさんにとってのお袋の味



特養では毎年のお誕生日の1カ月前にご利用者の嗜好調査を兼ねて、お誕生日の希望献立を聞きとって、みなさんにお出ししています。先日、入所して7年以上になるご利用者とお話をしていたとき

のことで。入所時はまだまだお元気で、お話にもすっかり答えていただいていたAさんですが、最近はどうも思いがなかなか言葉にならずに本人も歯がゆい様子でお話を聞いていました。「誕生日に好きなお料理をお出ししますので、なんでも言ってください」とお聞きしても、「好きなもの、モゴモゴ」「モゴ」言葉になりません。「お寿

司？うなぎ？すき焼き？焼肉？天ぷら？何にしよう？」「いろいろ試行錯誤しながら、問いかけますが、答えられないことに悲しさと苛立ちの表情さえ伺われます。「はっ！」と思いつき、「以前に『鯛にゆづめん』が好きって教えてくれましたよね。私はAさんから作り方を教わって初めてこの料理を知ったんですよ、あれにしようか？」と言ったところ、表情がパツと明るくなり、先程とはまったく



2階フロア
おにぎり作り風景



3階フロア
カレー作り風景



おにぎり出来上がり

違い「そう！鯛めん！大好き！」とはつきり答えられました。きつと自家にいるときにも自分で家族の方にとって食べておられたのでしよう。「鯛めん」がAさんにとってのお袋の味なのかもしれません。

文 管理栄養士 山下 咲子

Aさんに教わった鯛めんの作り方

鯛の切り身をだし少々、みりん、しょうゆで煮付ける
そうめんを茹でて冷水に取り、ぬめりを洗い流す
お椀に茹でたそうめんと鯛の煮付け、かまぼこ、ねぎなどの薬味をのせ熱々のそうめんだしを注いで出来上がり！

簡単でしょ！？ みなさんのお家でもどうぞ



居宅介護支援センターだより

ケアマネジャーという仕事をしているからなのか、たまたまなのかはわかりませんがプライベートでも介護に関わるお話を聞く機会が時々あります。先日は、こんな話を聞きました。知人のご主人は寝たきり状態で身の回りのことは全て介護が必要な状態とのこと。「ひょっとしたら該当するかもしれないので申請してみてもいい？」と役場で教えてもらったのだそうです。申請には申請書の他に診断書が必要なため、早速かかりつけの診療所に相談し、診察日が決められました。そして、必要書類をそろえて役所の窓口で申請しましたが...数日後に知らされた結果は見事に却下。頭部のMRI検査結果も脳血管疾患の所見は特にみられず、かといって他の病気も見つからず、ご主人の四肢麻痺の原因はアルツハイマー型認知症によるものだけ、と証明された格好になりました。

身体が不自由になる原因は様々です。そして、その原因によって結果が変わってくるようです。この方の場合にはこんなに健康だったの？と予想がつかなかったこともあったのですが、申請してみようと思ったら、まず、お医者様に相談してみてくださいね(ちなみに。アルツハイマー型認知症ですので精神障害者手帳は申請済みです)。

今回の件で、診断書は無料ではないですし病院に連れて行くだけでも大変だったろうに...とかかりつけの先生が大変気の毒がってくださったらしいのですが、「まあ、こんな機会でもなければ検査も受けないし、健康診断になってよかった~」と楽天的な性格の知人は笑っておりました。おまけに「私の日々の栄養管理と介護の賜物だわっ!!」と変な?自信までもったようで。だからといってあんまり無理はしてほしくないんですけどねえ。

文 ケアマネジャー 中村 里美



申請はしたものの...

“ 百花争論 ” 副施設長より

山科区に初めてデイサービス併設の特別養護老人ホームが開設して15年が過ぎます。当時は、福祉サービスを利用するために在宅介護では限界だと役所からお墨付きをもらい、特養はいざ知らずデイサービスにあっても1年、2年待って初めて週に1回利用できる時代でした。また勤める我々も市の給与に準じた待遇と、聖職(?)としての福祉現場が保障されていました。今に思えば優雅な時代です。その流れを大きく変えたのが周知の通り“介護保険”です。超高齢者社会における介護ニーズを支えるために、措置から契約へのコペルニックス的転換であり、公的責任を市場原理で以って支えるという矛盾を孕んだ制度です。性善説に立つ措置制度に対して性悪説に立つ介護保険は、中立公正を担保にするために常にあらゆるハードルを仕掛け続けなければ成り立たない制度です。もちろん介護保険により“いつでも、どこでも、必要なだけ”の介護サービスが格段にご利用者の手に入り、各事業所は、良質なサービスを創造するため人員増員、住環境改善、ユニットケア導入とご利用者サービスの向上に努めている姿は、当時から全く想像できないところです。

改めて15年を振り返り最も大きく変わったのは何だろうか考えると介護保険制度をはじめとする高齢者を取り巻く社会環境の変化と、ケアに従事する側のケアに対する思想の拡がりや深化ではないかと思えます。それは、良質な介護サービスを創造することを使命とする業界ニーズの反映であり、より質の高いケアを目指して昨今ではケアマネージメントはソーシャルワークを凌駕するが如くの勢いであり、PEAP、バリデーション、パーソンセンタードケア、ナラティブアプローチなどケアを支える思想も百花繚乱の時代です。

これからはいかに魅力ある介護の世界を創造していくか。ご利用者に喜ばれる介護サービスとは、対人援助のプロフェッショナルとしてご利用者とどう向き合い、どう関わっていくのか、エビデンスに基づいたケア実践の確立と築き上げた高い専門性を保障する社会の到来を思うこの頃です。

副施設長 岸田 光彦

十五周年に思い

行事等の活動報告

5月

『外食会 (大津プリンスホテル・梅の花など)』、『サククス演奏会』



2月

『節分』、『音羽中学校交流会』

4月

『花見 (動物園・毘沙門堂など)』、『居酒屋 (広島焼きパーティー)』

3月

『ひな祭』、『居酒屋』、『加藤社中 琴演奏』



写真のようなディスプレイできる本棚で、ご家庭では不要となつていふものがあれば是非譲ってください。

■中ロ家員探ししています

山科苑は、地域のみなさんに支えられてがんばっています

「ちょっとボランティアしませんか？」

山科苑では、ご利用者に午後よりゆとりの時間を過ごして頂いています。

そんなひとときと一緒に過ごし、お話しして頂ける方を探しています。気軽に来てみませんか？

他のボランティアも募集中です 「ちょっとやってみようかしら」。そう思ったら一度お問い合わせください。心よりお待ちしております。

(担当 岸田・中谷)



ボランティアさまご紹介

「皆様には、厚く御礼申し上げます。」

- * フロア生け花 / 松井ちづる様
- * 音楽療法 / 特養：音の風、 デイサービス：越田民代様、 松永裕子様
- * デイサービスボランティア / 澤 信子 様、 鈴木 啓子 様
- * 3階フロアボランティア / 石野 義子 様
- * 訪問ボランティア / 中西 康郎様他畑サククス教室の皆様、 加藤祐子様加藤社中の皆様 藤田 明子様
- * 実習生受け入れ (4月 ~ 6月) / 京都橘大学看護学部 聖母女学院短期大学 京都保育福祉専門学院



編集後記

いい加減、この自転車
 作業状態から抜け出し
 たいっつー……!!
 いえ、借金の話ではな
 く、『花咲かだより』の
 ことです。
 各部署より原稿をいた
 だき紙面を埋める。
 レイアウトもまあこん
 な感じでいいよね。
 え？もしかしてほとん
 ど変わってないっつて？
 (寝たフリ)ほんとは
 山科苑のことをもっと
 お伝えできることがあ
 ったんじゃないかな
 あ。でも、ま、とりあ
 えずできたしいいよね
 (ほんまに?)。ほっと
 したのもつかの間、再
 び、発行の時期は来た
 れり。
 うっつ、どっしよっ
 (涙)己の計画性のな
 さを恨んでもしかたな
 いのでこの悪循環を断
 ち切るべく、編集会議
 を行いました。
 たくさん出た案や意見
 をどう形にしてい
 か、どう伝えていくの
 か。
 課題はまだまだありま
 すが、新メンバーでわ
 いわいがやがや試行錯
 誤しながら作ってい
 ますのでこれからも
 『花咲かだより』をど
 うぞよろしく願
 います。

相談・苦情受付連絡先
 京都市山科区大塚野滝町3番地
 緑寿会 山科苑 (075) 593 0804
 苦情解決責任者
 施設長 吉澤 英樹
 相談・苦情受付窓口
 副施設長 岸田 光彦

花咲かだより 68号 夏号 平成20年6月1日発行
 発行所 / 社会福祉法人 緑寿会
 特別養護老人ホーム デイサービスセンター 居宅介護支援センター
 山科苑発行担当 / 山科苑広報委員会
 広報委員 / 中村里美、松本智子、中村典子、宮前政見、堅田美裕貴